

## レバーハンドルの操作範囲

レバーハンドルの湯水切替位置が今までの水栓と異なる

今までの湯水混合水栓は、レバーハンドルが正面の位置で吐水すると湯水混合水を吐水していました。  
水優先吐水機構を有する水栓（節湯C1形水栓）は、正面位置で水しか吐水されません。

〈今までの水栓〉



湯を使用するときは、レバーハンドルを正面から湯側に回転させて調整し、お使いください

節湯C1形水栓は、無意識なエネルギーの消費を抑えるために、レバーハンドルが水栓の正面に位置するときに、湯が吐水されないような構造になっています。  
水栓または取扱説明書などに水栓の正面位置が判断できる表示がされています。

〈節湯 C1 形水栓〉

